

◆自由投稿コーナー◆

# みんなの広場

家族で楽しむ「郷土かるた」

八潮市子育連かるた部  
篠木雅文



然とあいさつや礼儀を覚えます。郷土の事を知る事が出来、また札を取る時に養われる集中力は何事にも役に立つと思います。どこでも手軽にできますので是非一度ご家族の皆さんで何枚取れるか競争してみてくださいか、きっと楽しいと思います。

かるた部のメンバーは現在約15人、かるた講習会や八潮大会の運営、その他市子育連の活動を行っています。これからも子どもたちの健全育成に少しでもお役に立てればと思います。をして行きたいと思っています。

※かるたに関する事は、社会教育課にお問い合わせ下さい。

## 八潮チーム、県大会で準優勝！

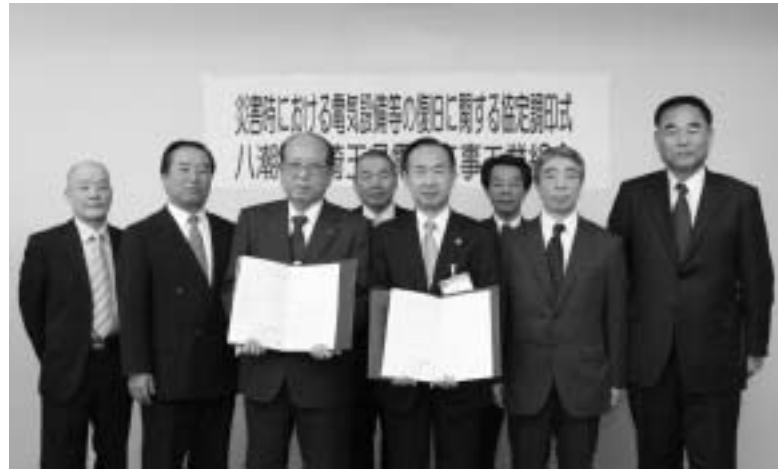
3月22日に熊谷ドームにおいて「第27回彩の国21世紀郷土かるた県大会」が行われました。参加した八潮市代表の各選手は皆よく頑張り、全員予選を通過し決勝トーナメントに進みました。その中で大曾根中子ども会の団体チームが6年ぶりに決勝を戦い、入間市チームに惜しくも敗れましたが準優勝に輝いた事は快挙であり、以前のような、かるたが強い八潮の復活を予感しました。

市子育連では、子ども会行事の一つとして「郷土かるた」を行っています。毎年秋に保護者を対象にしたかるた審判講習会を行い、子どもたちへの指導をお願いしています。各子ども会では、公民館などで練習を重ね大会に備えます。それぞれ支部の大会を皮切りに、八潮市大会、近隣の6市町が集まる埼玉南支部大会、そして最後に埼玉県内の約60の市町が参加する県大会が行われます。

八潮市は以前から埼玉南大会はもとより県大会において何度も優勝をしていますので、県内でもかるたが強いことでは名前が知られています。「まが玉は過去と未来の首かざり」で始まる彩の国21世紀郷土かるたは埼玉県に関する事柄をテーマとして46枚の札に子どもたちが描いて作られた素朴な郷土かるたです。それまでの「さいたま郷土かるた」に代わり3年前に作られました。残念ながら八潮に関するものはありません。かるたは「札に始まり札で終わる」という競技です。子ども達は自



## 災害時における電気設備等の復旧に関する協定締結



4月3日、埼玉県電気工事工業組合と「災害時における電気設備等の復旧に関する協定」を締結しました。

調印式では、災害発生時の公共施設等の電気設備の復旧、電気事故の防止および復旧活動中に二次災害を発見した場合の関係機関への通報などの支援活動の実施方法について確認しました。災害復旧作業の円滑な実施につながる事が期待されています。

## おいしく楽しくメタボ予防



4月24日、保健センターで「メタボ予防の料理教室」が行われ、参加者は春キャベツのホイコーローほか野菜たっぷりの4品を作りました。また教室では「1日にとりたい食品」を「みかんの花咲く丘」のメロディーにのせて楽しく合唱する場面もありました。

メタボ予防のポイントは主食・主菜・副菜のそろった食事をする事と毎日3食食べることで、参加者からは「おいしくて、しかもボリュームのある料理をしっかりと食べられるのでびっくりしました」と驚きの声が上がっていました。

## 入学おめでとうございます



4月8日、市内の小学校、中学校で入学式が行われました。満開の桜に迎えられ、それぞれの新たな希望を胸に、新小学一年生771人、新中学一年生733人が入学されました。

八幡小学校の入学式では、校長先生から「学校にはたくさんの友だちや先生がいます。みんなで楽しく過ごしましょう」とお話がありました。また、担任の先生から新一年生一人ひとりが名前を呼ばれ、元気な声で返事をしていました。

## 親子で楽しく作りました！



4月14日、だいら児童館「わんぱる」で幼児イベント「こいのぼりを作ろう！」が行われ、12組の親子（計26人）が参加しました。

子どもたちがトイレトペーパーの芯や折り紙などこいのぼりの部品を先生から受け取り、それを保護者に届けて親子で一緒にのりづけをしたり、こいのぼりの目や胴体の模様を書いたりしました。親子でふれあいながら可愛いこいのぼりが完成しました。

# いきいきやしお写真館